

【教育長賞】忘れられない思い出

安城中部小学校 杉浦 こと

みなさんには給食が好きでしょうか。忘れられない給食メニュー、みんなで食べた給食などたくさんの思い出はありますか。私にはたくさんの中でも特に残った思い出を出がありますが、その中でも特に残った思い出をしようかといします。

それは、給食当番の思い出です。私のクラスでは、給食の準備がおそく、十二分もかかっていました。そこで考えたのはタイマー方式です。タイマーを最初は十一分くらいに設定して制限時間内に準備を終わらせたら、少しづつ時間を短くしていくというものです。そのタイマー方式を取り入れたおかげで、少しづつ準備が早くなつていき、私が当番をやるところにはもう八分で準備できるようになつていきました。けれど、八分のかべは高く、なかなかクリアできません。

四時間目終了のチャイムが鳴りました。私はタイマーを七分三十秒にセットしながら、リレーで走る順番が近づいてくるようなきん張感を感じました。「よーい、スタート！」

いそいで手洗い場までスタートダッシュします。大きいそぎで、でもていねいに手を洗つてほとんど走りながら手をふきます。教室に入つてバトンを受けとるよう、フックから給食袋を受けとり、気分はまるでリレーの選手。大きいそぎで白衣を着て、大きいそぎでマスクをつけて、大きいそぎでろう下へ出ます。先生のチェックを受けて、さあ、いよいよ

盛り付けです。全員がだいたい同じ量になるように、しん重にていねいに盛り付けます。が、どうしてもタイマーを気にしてしまいます。ふと、給食を作っている人もこんなふうに、しん重に盛り付けたり、時間を気にしてあせつたりすることがあるんだろうかと思いました。そう思うとなんだか遠くに感じていた調理員さんを身近に感じることができました。

そして、盛り付けが終了です。タイマーを見ると、残り三十秒！あわてて白衣をぬいで、席につき、「ピピピピッピピッ」

タイマーが鳴りました。そう、なんと七分三十秒でぎりぎり準備が終われたのです！私は心の中で大きなガツツポーズをして、今にも走り出して、おどり出してしまいそうでした。給食センターの人は、私においしい給食、みんなと食べる楽しい給食、そして、給食当番の思い出をくれました。だから、私はからつぽになつた食かんバットで恩返しをしたいと思いました。